

産業組織特論演習(1年次) 丹野忠晋 2016年4月13日

1. 授業の目的と到達目標

企業や産業の経済分析を行う基礎知識を習得することが目的です。研究テーマは自動車産業, 医薬品流通, 公共調達, 企業の内部組織, 独禁法の経済分析, 産業規制, イノベーション, 直接投資, 企業金融(コーポレート・ファイナンス)が挙げられます。大学院レベルの論文の書き方や事例を学びつつ, 産業組織論の専門論文を読んでいきます。修士論文を執筆するための基礎知識を獲得し研究テーマを確立することが目標です。

2. 授業の内容

小浜・木村(2011)で論文の書き方を学びます。適宜, トムソン(1997)やトゥラビアン(2012)を参照します。輪読の候補としては, 産業組織論の古典(小宮他1984, 伊藤他1988), 日本企業の内部組織(小池2005, 浅沼・菊谷1997), 競争政策(後藤・鈴木1999, 後藤2013), イノベーション(後藤2000, 後藤・長岡編2003), 直接投資(富浦2014, 清田2015)が挙げられます。研究計画や研究テーマに繋がる新聞記事等からの事例の報告も行って貰います。

3. 授業の方法

論文の書き方について講義を行います。輪読とゼミ生の研究報告を行います。授業中に小論文を書くことも課します。

4. 成績評価の方法

演習への参加状況, 発表, 論文を総合的に判断して評価を行います。

5. 教科書・参考書

- 小浜裕久, 木村福成(2011)『経済論文の作法 第3版 勉強の仕方・レポートの書き方』日本評論社
- ウィリアム・トムソン(1997)『経済論文の書き方—作成・プレゼン・評価』東洋経済新報社
- ケイト・L・トゥラビアン(2012)『シカゴ・スタイル 研究論文執筆マニュアル』慶應義塾大学出版会
- 小宮隆太郎, 奥野正寛, 鈴木興太郎他(1984)『日本の産業政策』東京大学出版会
- 伊藤元重, 奥野正寛, 清野一治, 鈴木興太郎(1988)『産業政策の経済分析』東京大学出版会
- 小池和男(2005)『仕事の経済学』東洋経済新報社
- 浅沼万里, 菊谷達弥(1997)『日本の企業組織 革新的適応のメカニズム—長期取引関係の構造と機能』東洋経済新報社
- 後藤晃, 鈴木興太郎編(1999)『日本の競争政策』東京大学出版会
- 後藤晃(2013)『独占禁止法と日本経済』エヌティティ出版
- 後藤晃(2000)『イノベーションと日本経済(岩波新書)』岩波書店
- 後藤晃, 長岡貞男編(2003)『知的財産制度とイノベーション』東京大学出版会
- 富浦英一(2014)『アウトソーシングの国際経済学 グローバル貿易の変貌と日本企業のマイクロ・データ分析』日本評論社
- 清田耕造(2015)『拡大する直接投資と日本企業(世界のなかの日本経済:不確実性を超えて7)』エヌティティ出版

6. 授業計画

【前期】

- 1 ガイダンス：修士課程とは何か
- 2 研究の仕方，論文の書き方，発表の仕方 1
- 3 研究の仕方，論文の書き方，発表の仕方 2
- 4 論文輪読 1
- 5 論文輪読 2
- 6 論文輪読 3
- 7 論文輪読 4
- 8 研究計画発表 1
- 9 研究計画発表 2
- 10 論文輪読 5
- 11 論文輪読 6
- 12 論文輪読 7
- 13 論文輪読 8
- 14 夏休み研究計画発表 1
- 15 夏休み研究計画発表 2

【後期】

- 1 夏休み研究報告 1
- 2 夏休み研究報告 2
- 3 論文輪読 1
- 4 論文輪読 2
- 5 論文輪読 3
- 6 見学（公取委，検察庁等，希望があれば）
- 7 論文輪読 4
- 8 論文輪読 5
- 9 論文輪読 6
- 10 論文輪読 7
- 11 論文輪読 8
- 12 論文輪読 9
- 13 今までの研究まとめ・報告
- 14 冬休み研究計画発表
- 15 冬休み論文の発表・添削・その拡張指導